

旅産業

地域資源を活かした
新しい観光を考える

実践講座

vol.13

温泉とは何だろう？

最初にクイズです。(答えは下にあります)

『次のうちで温泉ではないのはどれでしょう？』

- ①源泉における水温が26℃で、水1kgに0.2gの温泉成分が溶けていた。
- ②源泉における水温が24℃で、水1kgに0.9gの温泉成分が溶けていた。
- ③源泉における水温が24℃で、水1kgに1.1gの温泉成分が溶けていた。

普段、何気なく利用している温泉ですが「温泉」と「家のお風呂」の違いって何でしょう？改めて聞かれると、なかなか難しい質問だと思いませんか？日本の温泉は全て、温泉法という法律によって決められています。

温泉法では、「源泉における水温が摂氏25度以上」または「水1kgに溶存物質（ガス性のものを除く）総量1g以上」のいずれか1つ以上を満たしたとき「温泉」と認定されます。つまり、成分がまったくなくても水温が25℃以上なら「温泉」、水温が25℃以下でも成分が水1kg中1g以上入っていれば「温泉」となります。

ちなみに、飯山市内の温泉はさまざまな温泉成分が入っており、低刺激で体にやさしく万人向けです。

(クイズの答えは②)

「温泉入浴相談コーナー」の時間が変わります

北信州いいやま温泉郷では「温泉入浴相談コーナー」を開設し、大変好評を頂いております。12月までは従来の『水曜日14時～16時』で実施しますが、来年1月より皆様の要望にお応えして、更に相談しやすい時間帯へ変更することになりました。新しい日時は次の通りです。

- 第1水曜日 10:00～12:00 戸狩温泉一暁の湯
- 第2水曜日 16:00～18:00 いいやま湯滝温泉
- 第3水曜日 16:00～18:00 いいやま北竜温泉
- 第4水曜日 16:00～18:00 斑尾高原温泉

温泉や入浴法の疑問、質問がありましたらお気軽にご相談においでください。

■お問い合わせ先

市役所観光課旅産業係 ☎62-3111 内線233



●写真：佐藤武造「雪の飯山町」
(1908年、水彩)

美術館情報

常設展示

郷土にゆかりのある画家の絵画作品を展示

長谷川青澄・宮沢鉄夫・佐藤武造など、郷土出身またはゆかりのある美術家の主に絵画作品を展示しています。

- 入館料：大人300円、市内の小・中学生は入館無料
(引率、同伴者を含む)
- 開館時間：午前9:00～午後5:00
(入館は午後4:30まで)
- 休館日：毎週月曜日
- 飯山市美術館 ☎62-1501

利融通情報 ～不用品の交換～

◆譲ります (無料)

- ☞ベッドマット (シングル) ① ☞ハイベッド① ☞電動ごみ処理機①
- ☞電気コタツ① ☞テレビ (20インチ) ①

◆譲ります (有料)

- ☞自転車 (26インチ) ①

◆譲ってください (無料)

- ☞車載拡声器① ☞箱膳④ ☞冷蔵庫① ☞絵本 (何冊でも)
- ☞チャイルドシート (新生児用) ①

◆譲ってください (有料でも可)

- ☞除雪機 (20馬力以上) ① ☞エンジンチェーンソー①
- ☞電子ミシン①

※希望される方は、生活環境室 (電話62-3111内線192) までご連絡ください (掲載期間は6か月間です)。掲載の品物の登録者をご紹介しますので、当事者間で交渉をしてください。なお、品物の引き渡しに生じた問題は当事者間で解決してください。

▼飯山えびす講が好天に恵まれ開催されました。▼自分が小中学生の頃は友達とワクワクしながら出かけたものですが、その名残なのか、今でも朝の花火の音を聞くとうれしくなっています。▼そんな花火の音に誘われ私もえびす講に出かけると、歩行者天国となった通りは大勢の人で賑わっていました。知り合いに出会った人たちが立ち止まって話をする商店街ならではの光景があちこちで見られ「昔と変わらない良い光景だな」と感じました。▼もうすぐ冬がやってきます。一昨年の豪雪、昨年の寡雪と異常気象が続きましたが、今年こそは「飯山らしい冬」になることを願いたいものです。二ノ宮

編集後記